

# 中学校 家庭との連携を生かした事例

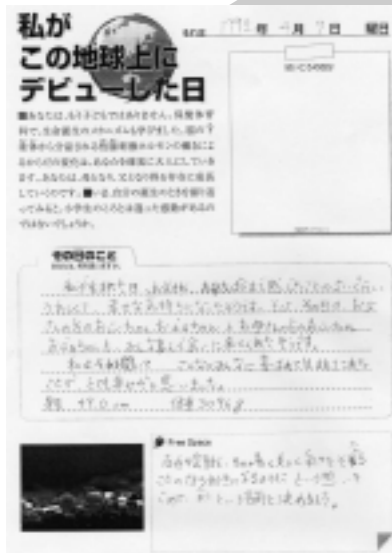
## 家庭との連携を生かした道徳の時間に

○父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする意欲を高めます。

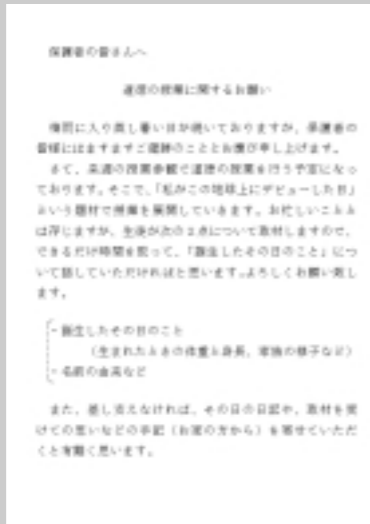
### 事前学習

「心のノート」中学校P68、69「私がこの地球上にデビューした日」を活用して、家庭で家族から聞き取りをする。

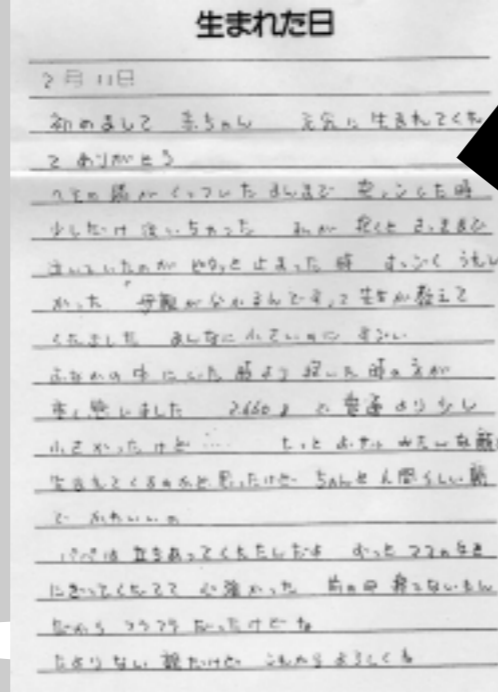
「心のノート」の記入例



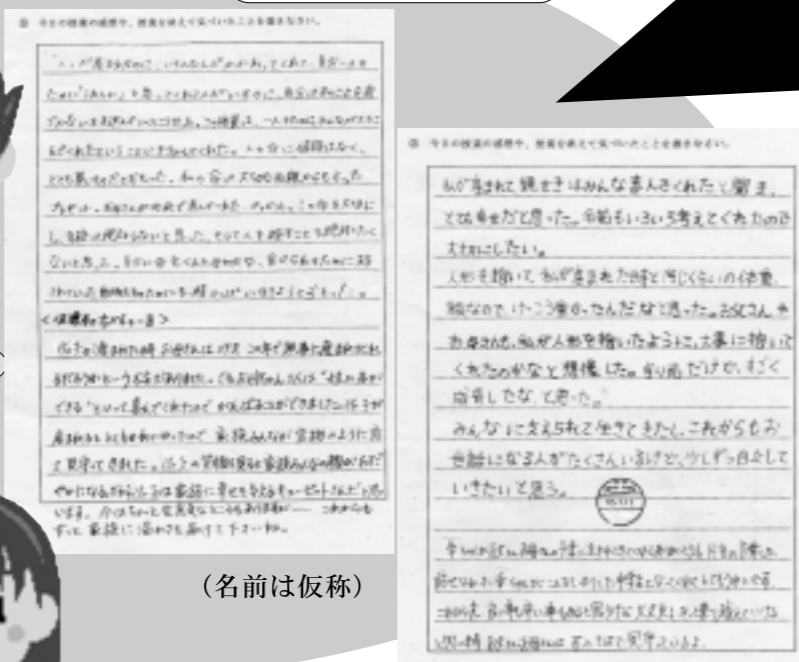
家庭への依頼文



保護者から寄せられた日記



ワークシートの例



(名前は仮称)

(名前は仮称)

### 事後学習

授業の感想をワークシートに記入し、学級で紹介し合う。

なるほど。そんな考えもあるんだ。気が付かなかったなあ。

ワークシートを家庭に持ち帰って、家族と話し合うきっかけにしたり、メッセージを書いてもらったりする。

こんなにわたしのことを考えてくれていたんだ。わたしの生命は、わたしだけのものじゃないんだなあ。

○学習を進めるに当たっては、それぞれの学校や学級、子どもの実態や家庭の状況等を十分把握し、配慮して進めることが大切です。

### 道徳の時間 (家庭・地域への公開授業)

主題名 生命の尊重 (3-(2))

ねらい

自分を重ねあわせながら生命の誕生について考え、生命のかけがえのなさに気づき、自他の生命を尊重しようとする態度を養う。

#### 学習展開

○赤ちゃんの人形を抱き、感想を出し合う。

○事前に保護者から寄せられた日記を資料として聞かせ、感じたことや考えたことを話し合う。



生まれるって、大変なことなんだなあ。生きているなんて当たり前だと思っていたけれど、たくさんの人に支えられてきたんだ。

ちよっと照れくさいな。ほくもこんなに小さかったのかなあ。

○「心のノート」P68、69を開き、それぞれが聞き取ってきたことを振り返りながら、新たに気付いたことや考えたことを話し合う。

〇〇さんのお姉さんは、生まれてすぐに亡くなっただらしい。とても悲しかったらうな。

「心のノート」を開いて、自分のことを振り返ってみよう。みんなが生まれたとき、家族の人たちはどんな思いだったのかな。